

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	青森市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	青森市												
計画の目標	大規模地震における盛土造成地の滑動崩落による宅地被害を防ぐため、本市の大規模盛土造成地の危険性について調査し、マップの公表を実施するとともに、耐震化を推進するなど宅地の安全性の「見える化」や事前対策を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	12	A	12	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 2 当初		R 6 末
1	大規模盛土造成地に居住する住民の防災意識の向上 第二次スクリーニング調査実施における優先度の高い箇所抽出及び第二次スクリーニング計画を作成し公表することで、地区住民の防災意識を高めます。 0地区/63地区      63地区/63地区	0%	%	100%
2		0	0	0

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	青森市	直接	青森市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	大規模盛土造成地の造成年代 調査、現地踏査、優先度評価 、第二次スクリーニングの実施	青森市						12		-	
												小計						12		
											合計						12			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 青森市社会資本整備評価委員会	事後評価の実施時期 令和7年12月
	公表の方法 市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地マップを公表することで、地域住民の防災意識を向上することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
早期に第二次スクリーニングを実施すべき盛土について調査を進める。	

案件番号：

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	マップの公表率（0地区 / 63地区      63地区 / 63地区）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	0
	最終実績値	0